

# スタートアップガイド

Windows7 (32bit/64bit) 搭載パソコンへの  
G-Trace.netのインストール手順

**G-MEN DR01・DR20・DR100対応**

G-Trace.netのインストールは、必ず本書の手順に従って行ってください。  
本書以外の手順では正常にインストールできない場合があります。



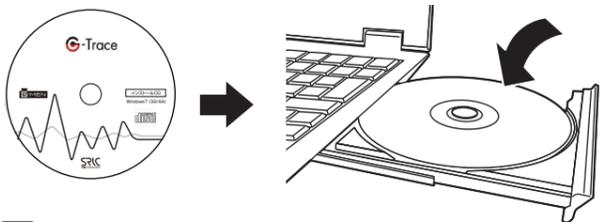
**SRIC**  
SRIC Corporation

2014.10

## ソフトウェアをインストールする

※注意!インストールは、必ず本機とパソコンを接続する前に行ってください。

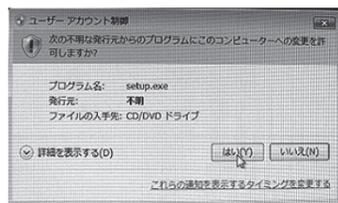
### 1 CD-ROM ドライブに「G-Trace.net」を入れる



### 2 インストールメニューの実行



「InstallMenu.exe の実行」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御」表示がされたら、次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか? 「はい(Y)」をクリックします。

### 3 G-Trace.net のインストール



G-Trace.net Install Applicationの画面が表示されたら「G-Trace.net のインストール」をクリックします。

### 4 「G-Trace.net」セットアップウィザード



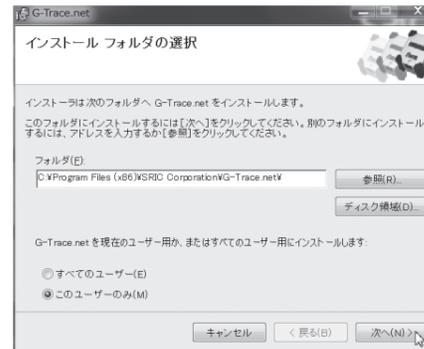
「次へ(N)」をクリックします。

### 5 ライセンス条項



ライセンス条項の内容を確認し、同意いただける場合には「同意する」を選択し、「次へ(N)」をクリックします。

### 6 インストール先のフォルダを選択



「G-Trace.net」をインストールするフォルダを選択します。「すべてのユーザー」が「このユーザーのみ」の何れかを選択します。「次へ(N)」をクリックします。

### 7 インストールオプション



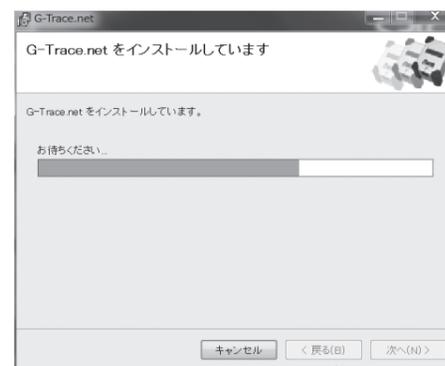
「次へ(N)」をクリックします。

### 8 インストールの確認



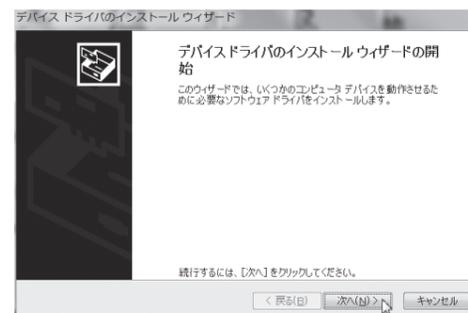
「次へ(N)」をクリックします。

### 9 「G-Trace.net」をインストール



「G-Trace.net」をインストールしています。

### 10 デバイスドライバのインストールウィザードの開始



「次へ(N)」をクリックします。

### 11 デバイスドライバのインストールウィザードの完了



「完了」をクリックします。

### 12 インストールの完了



「閉じる(C)」をクリックします。

### 13 ショートカットアイコンの確認

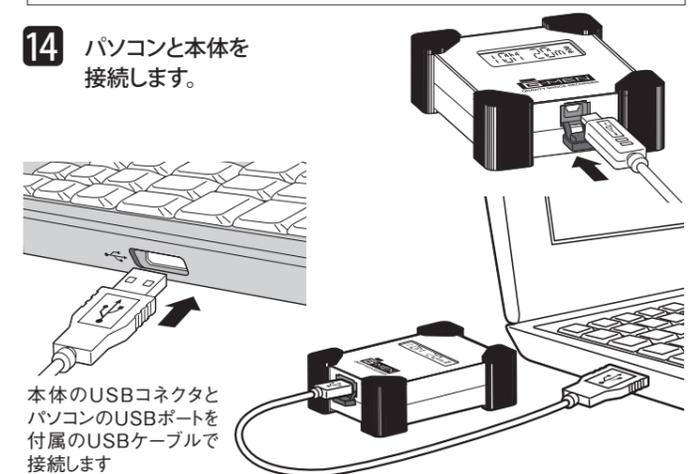


デスクトップ画面上に「G-Trace.net」のショートカットアイコンが自動的に作成されます。

## パソコンと接続する

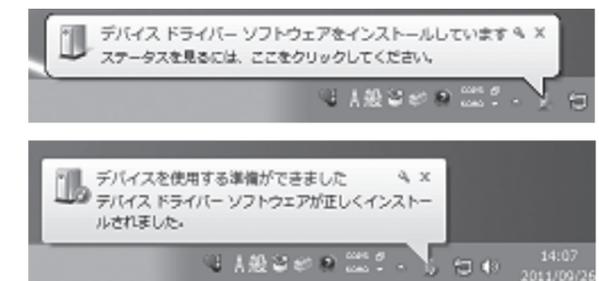
※注意!本機を使う時は、付属のUSBケーブルでお使いのパソコンと接続します。

### 14 パソコンと本体を接続します。



本体のUSBコネクタとパソコンのUSBポートを付属のUSBケーブルで接続します

### 15 デバイスドライバの自動インストール



デスクトップ画面右下にポップアップが表示されます。正しくインストールされたら使用できます。

# はじめてつかうG-Trace.net

## G-Trace.net

(G-MEN DR01・DR20・DR100対応)

### 第1章 G-Trace.net とG-MEN

- 1 起動と接続
- 2 複数のG-MEN との接続

### 第2章 G-MEN で振動を計測してみよう

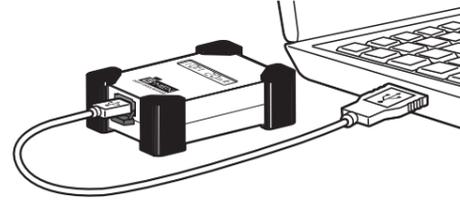
- 1 G-MEN に計測条件を設定
- 2 G-MEN の計測を開始
- 3 G-MEN に振動を加える
- 4 G-MEN の記録データを取得
- 5 G-MEN の取得データを保存

G-Trace.net のユーザーズマニュアルは、ソフト上のヘルプをご利用いただくようお願いいたします。ここでは簡単にG-MEN の計測をG-Trace.net よりどのように設定するか記載しております。

## 第1章 G-Trace.netとG-MEN

### 1 起動と接続

G-Trace.netの起動とG-MEN との接続



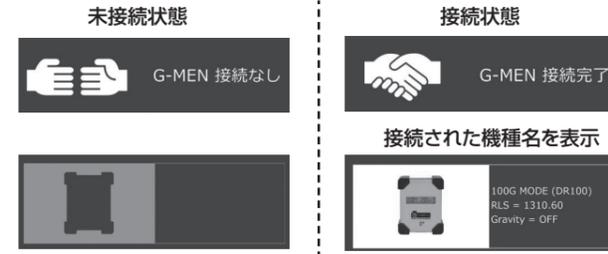
G-MENとの接続は、G-Trace.netの起動後でも起動前でもどちらでも構いません。また、全く接続せずに起動する事も可能です。



スタートメニューからG-Trace.netを選択、またはデスクトップ上のショートカットアイコンのクリックにより、G-Trace.netを起動します。(スタートメニュー画面)

G-MEN を接続するとG-Trace.netは現在のG-MEN 接続状態を、スタートメニュー/データ表示画面のどちらにおいても、接続の有無を表示しています。

#### スタートメニュー画面



#### データ表示画面



スタートメニューの画面のステータスバーにも同様に表示され機種と接続状態本体RLS番号が表示されます。G-MEN本体の液晶には【CoNNECTd】と表示されます。G-MENとパソコンの接続の確認が出来ない場合G-MEN本体とUSBケーブルを再度抜き差しする。それでも確認が出来ない時は、USBドライバのインストールが失敗している可能性があります。

### 2 複数のG-MENとの接続

G-Trace.netは複数のG-MENと同時に接続はできません。複数のUSBポートを持つパソコンにG-MENを複数接続しても1台のコンピュータに対し1台のG-MENの認識になります。

## 第2章 G-MEN で振動を計測してみよう

簡単な計測をしてみましょう。第一章でG-MENはG-Trace.netで接続の確認がとれましたか。

#### 計測のながれ

- 1 G-MENに計測条件を設定する
- 2 G-MENの計測を開始する。
- 3 G-MENに振動を加える。
- 4 G-MENの記録データを取得する。
- 5 G-MENの取得データを保存する。



### 1 G-MENに計測条件を設定

ここでは出荷時の設定を利用します。G-MENを付属USBケーブルでPCと接続します。G-MENがPCで認識されるとG-MEN接続完了と表示されます。

画面左下の【G-MENの設定を変更】をクリックします。

G-MENの設定を変更

クリックすると下記画面が表示されます。この画面ではG-MENの計測条件を任意に設定ができます。ここではテンプレートの初期設定を利用します。

テンプレートの初期設定をクリックしてください。クリックすると下画面の計測条件の項目が表示されます。

- 本体番号 【1】
- サンプリング 【0.01秒】
- 応答周波数 【100Hz】
- 記録間隔 【1秒】
- しきい値 【0.0G】
- ハザード 【0.0G】
- しきい値超検出 【OFF】
- エンドレス記録 【OFF】
- 開始オプション 【5】秒
- 液晶表示オプション 【00】



上記の設定では、G-MENは測定開始を実行すると、開始オプション5秒後から始動し1秒で1データ記録します。内容は記録間隔1秒間の中で10msecごとにサンプリング計測した100個のデータ中で、X・Y・Z軸のそれぞれのピークG値を記録し、温度・湿度も記録します。

条件を変更するには各項目の一覧ボタンまたは各項目の▲▼で数値を指定します。条件設定が完了したら画面右したの【OK】ボタンをクリックしてスタートメニュー画面に戻ります。スタートメニュー画面で設定した計測条件が反映しているか確認してください。

### 2 G-MENの計測を開始

スタートメニューの画面より即時測定と予約測定開始が選択できます。即時測定の場合スタートメニューの下記ボタンをクリック



即時測定開始確認ダイアログが表示されますので【OK】をクリックします。



次に「G-MENケーブルを外してください。」とダイアログが表示されますので、【OK】をクリックし、G-MEN側のUSBケーブルを外してください。

ケーブルを外すとG-MENは開始オプションで指定した5秒後から測定を始めます。

G-MEN 本体の液晶ではケーブルを抜くと【WAIT 05】からカウントダウンをして、【1S 10m】と【23.0C 32rh】の【記録間隔・サンプリング周期】と【温度湿度】の表示が交互に点滅します

予約測定の場合スタートメニューの下記ボタンをクリック



指定したい日時を入力します。

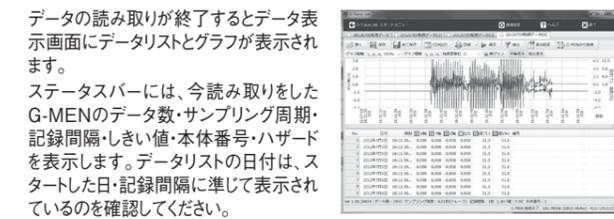


### 3 G-MENに振動を加える

G-MENの測定が開始されたので、G-MENを左右に振ったり軽く机にコンコンとたたいたりして2・3分程度計測してください。途中静止状態があっても構いません。

### 4 G-MENの記録データを取得

G-MENを再度USBケーブルと接続してPCとつないでください。G-Trace.net上でG-MENの接続されていることを確認してください。本体液晶には【CoNNECTd】と表示されます。G-MEN本体にレコードされたデータを取得するためにG-Trace.netのスタートメニュー画面の【測定記録データを取得】のボタンをクリックします。取得中は下記のように、画面中央にインジケータが出ています。

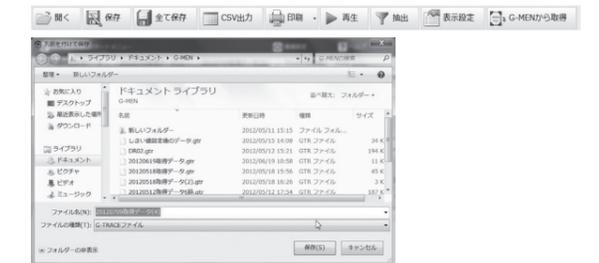


データの読み取りが終了するとデータ表示画面にデータリストとグラフが表示されます。ステータスバーには、今読み取りをしたG-MENのデータ数・サンプリング周期・記録間隔・しきい値・本体番号・ハザードを表示します。データリストの日付は、スタートした日・記録間隔に準じて表示されているのを確認してください。またデータはXYZの3軸と温度・湿度が表示されます。X・Y・Z軸の単位は初期設定ではG値で表示されています。加速度単位を「G・m/sec<sup>2</sup>・Gal」から任意の単位で表示できます。合力の計算式は√(X×X)+(Y×Y)+(Z×Z)です。時刻の最小単位は、10msecとなります。ここで取得されたデータは1分間計測していればデータ数は60個になります。記録間隔 1秒×記録時間=データ数

\*データ数は記録間隔やしきい値の設定などにより取得数は変わってきます。  
\*日付は設定したPCの時計を見ているので、パソコンの時計が間違っていればG-MENの取得された日付データも間違えになります。

### 5 G-MEN の取得データを保存

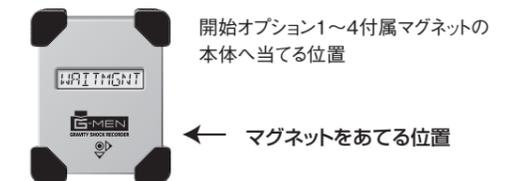
メニューより保存を選択。



測定データ保存ダイアログが表示されます。ファイル名は、自動生成で日付数字がファイル名になりますが、任意で変更ができます。ファイルの保存形式は「\*.gtr」になりG-MEN 専用の形式です。

これで 簡単な計測を終わります。

計測条件の画面では、計測したい内容により色々な設定の組み合わせになります。詳しくはヘルプをご参照ください。



### 6 G-MENのレンジ変更

G-MEN DR01・DR20は最大測定値変更ができます。(DR100はレンジ変更できません)

機種	工場出荷時	G値と分解能	レンジ変更時G値と分解能
G-MEN DR01	1G	0.01G	2G 0.02G
G-MEN DR20	20G	0.2G	10G 0.1G